

都民が決める。
都民と進める。

小池
ゆりこ

元防衛大臣・
環境大臣



「東京大改革宣言」

明日のために、今はじめる。

- ▶ 都政の透明化
- ▶ 五輪*関連予算・運営の適正化
- ▶ 行財政改革の推進
- ▶ 都知事報酬の削減
- ▶ 特区制度の徹底活用

*東京オリンピック・パラリンピック

東京の課題解決と成長創出のために、
3つの「新しい東京」をつくります。

セーフ・シティ

もっと安心、もっと安全、もっと元気な首都・東京

- (1) 住宅の耐震化・不燃化を2020年までに加速させる。
- (2) 都道の電柱ゼロ化、技術開発を支援する。
- (3) 新たなテロへの脅威に備え、公共施設や重要施設でのセキュリティー対策を本格化する。
- (4) 町会・消防団の機能を高め、支援する。
- (5) 商店街維持発展のために、事業承継対策と空き店舗の活用などを推進する。
- (6) 多摩格差をゼロへ。
- (7) 環境に配慮しつつ、島嶼での命と安全を守る。
- (8) 災害時にも使える乳児用液体ミルクの普及を図る。

ダイバー・シティ

女性も、男性も、子どもも、シニアも、障がい者も いきいき生活できる、活躍できる都市・東京

- (1) 女性が健やかに希望を持って、生き、学び、働き、愛し、子供を産み、育む社会を実現する。
- (2) 「待機児童ゼロ」を目標に保育所の受け入れ年齢、広さ制限などの規制を見直す。
保育ママ・保育オバ・子供食堂などを活用して地域の育児支援態勢を促進する。
- (3) あらゆる都内遊休空間を利用し、保育施設、介護施設不足を解消。同時に、待遇改善等により保育人材、介護人材を確保する。
都立高校跡地を韓国人学校に貸与する前知事の方針は白紙撤回。
- (4) 高齢者・障がい者の働く場所を創出。ソーシャルファームの推進。
- (5) 健康寿命延伸のための予防医療、受動喫煙対策を推進し、地域の医療機関を支援する。
- (6) 「残業ゼロ」などライフ・ワーク・バランスの実現を、都庁が先行実施する。
- (7) 満員電車をゼロへ。時差出勤、2階建通勤電車の導入促進。
- (8) 都独自の給付型奨学金を拡充し、英語教育を徹底する。
- (9) 「ペット殺処分ゼロ」を実現。

スマート・シティ

世界に開かれた、環境・金融先進都市・東京

- (1) エコハウス・スマートハウスへの補助を強化する。
- (2) 都内のガソリンスタンドをエネルギーステーション化し、
EV・バイオエネルギー・水素ステーションの充電・充填設備を大幅に増設。
- (3) 街灯や公共施設のLED化。LED導入促進施策の実施。
- (4) 老朽廃棄物処理場の集約。
- (5) ヒートアイランド対策の強化と、都市農業の維持、発展。
- (6) 東京の森林を守り、若者等の就業の場とする。
- (7) 東京をアジアナンバー1の国際金融市場として復活。
国際金融特区や税優遇を活用し、世界から企業や高度人材を呼び込む。英語による諸手続きが可能な環境を整備。
- (8) フィンテックの活用を含め、東京版グラミン金融(小口無担保融資)を推進する。
- (9) 中堅・中小企業の事業承継等を支援し、新規事業者の参入を支えるため、都内の事業再生・ベンチャーファンドの育成。
- (10) 東京ブランドを確立し、観光・インバウンド客をさらに増大させる。

都民が決める。都民と進める。東京の未来。